

ムの保守料等に係る費用です。小松市のマイナンバーカードの交付率は令和3年3月末現在で30・54%と前年度に比べ約16ポイント上昇している状況です。

#### ■特別定額給付金給付費

(10,774,400千円)

国が新型コロナウイルス感染症経済対策として行った制度で、全額国庫負担で市民一人あたり10万円を給付したものです。基準日となる市民に対し、給付率99・8%となる107,744人に対して支給を行ったことです。

未支給となった0・2%の方については、給付を辞退する方も含まれていますが、最終的に確認できなかった方も含まれています。市として町内会等と連携するなど、状況を把握してほしいという意見がありました。

#### ■教育相談費(1,631千円)

不登校の児童生徒や保護者、学校等の相談対応、相談員の研修、専門家による土曜専門相談等に係る費用です。特別支援教育士を配置したことで、通常教育相談は延べ相談件数で5,000件を超えているとのこと。

増加する相談に対応する職員はすべて会計年度任用職員であることから、フルタイムの正規職員の配置を求める意見がありました。

#### ■授業支援費(65,252千円)

4年に一度改定される小中学校教師用

教科書購入や、個別指導による学力向上のために配置される学習サポーター等への報酬に係る費用です。

学習サポーターの報酬については、国の最低賃金等を参考に次年度へ向けて改善・検討を求める意見がありました。

#### ■小中学生食育奨励給付金費

(6,503千円)

令和2年4月13日から5月29日の臨時休校期間と6月の給食月間に、家庭においても食育の大切さを理解し健康的な食生活を実践してもらったため児童生徒一人につき、1万円を支給した費用です。

家庭において、この事業の趣旨に基づいた取組がなされ、効果が表れたかどうか、事業評価を行い次に生かして欲しいと求める意見がありました。

#### ■児童生徒教職員健康診断費

(27,434千円)

学校保健安全法による児童生徒、教職員の健康診断、学校医等の報酬に係る費用や教職員のストレスチェックの業務委託料に係る費用です。

長時間労働があった教職員に対する医師による面接指導は法に基づき適切に実施しているとのこと。定数の改善についても引き続き県を通じて国へ要望して欲しいとの意見がありました。

#### ■ひとつものづくり科学館管理運営費

(91,991千円)

歳入総額が56,536千円、歳出総

額が91,991千円で、差引き35,455千円の歳出超過となっているとのこと。歳入については、特定防衛施設周辺整備調整交付金(9条交付金)を未来教育推進基金に積立て、翌年度に基金繰入金として歳入予算に計上しているものです。

ひとつものづくり科学館の歳入歳出の決算状況に限らず、市の所管する施設の決算状況については、その効果、効率性を明瞭にし、より分かりやすい報告となるよう求めました。

#### ■産業競争力強化費の内こまつの技継承支援(5,389千円)

伝統的産業である九谷焼や小松表等の後継者育成のため、技術等取得を希望する若年層を雇用し、指導・継承を図る市内事業者を支援するものです。

令和2年度の利用は6件13名であり、前年度の約2倍の実績であるということですが、小松にある技術を継承していくことは、地域産材利用促進奨励費などの補助メニューとも関連する重要な課題であり、庁内で連携して取り組むよう求める意見がありました。

#### ■環境王国拠点施設整備費

(178,400千円)

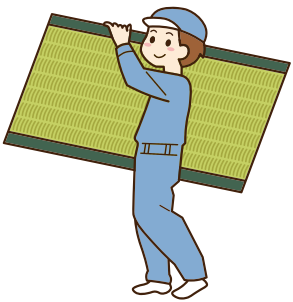
旧西尾小学校跡地活用事業の令和2年度に実施した改修工事費です。コロナ禍による影響等で、工期が2ヶ月延長され、予算の一部約3億8千万円は令和3年度に繰越されましたが、令和3年5月末で施設の改修工事は完了しているとのこと。令和3年4月1日に締結予定であった指定管理に係る基本協定及び年度協定は、市と指定管理者の間で合意できず、現在も継続的に協議を行っているとのこと。

また、並行してスタートからの事業の在り方について第三者の立場から専門家による検証委員会で集中的に検証しているとのことですが、早期オープンに向けスピード感を持って行うことも重要であり、検証委員会での検証結果も踏まえ、適切に取り組むよう求める意見がありました。

#### ■新たな旅行スタイル実証費

(23,233千円)

観光庁の採択を受けた新たな生活様式に沿った旅行スタイルの実証実験事業であり、その成果を、より安全で誘客力の高い観光コンテンツの造成へと反映させていくものです。今回の事業により得られた情報や成果を活かし、観光物産ネットワークとも連携を図りながら、コロナ後の魅力的な旅行商品造成に繋げていくとのこと。



## 総務企画

委員長

新田 寛之

副委員長

二木 攻

### 委員

東 南 藤 田 梅 本 灰 橋 田 地 田 昌 米 仁 利 陽 浩 典 子 志 和 一 一

### ■議案第47号 小松市部設置条例の一部を改正する条例について

市民課、医療保険課など市民の方に分かりやすく課の名称を修正するものや企業誘致等推進のため産業創生室を新しく設置するもの、生涯学習等の業務を教育委員会に変更するなど所管業務の変更を行うものです。

組織の名称については、時代の変化等に合わせ変更が必要ですが、まず市民の分かりやすさを第一に行ってほしいという意見がありました。

### ■議案第48号 小松市一般職の任期付職員採用等に関する条例について

法律に基づき、高度化、多様化する行政課題に的確に対応するため、専門的な知識や経験を有する職員等を任期付きで採用出来るよう新しく条例を制定するものです。

採用される方が、市のために十分な能力を発揮し、業務でやりがいを得られるよう、また専門的な知識のある民間の方が興味をもってもらえるような処遇など充分な動機づけを行ってほしいという意見がありました。

### ■議案第51号から第54号 工事請負契約について

こまつドームの生涯学習センター改修工事及び安宅新地区土地区画整理事業造成工事にかかる工事について請負契約をするものです。

工事発注にあたり、価格以外に競争参加者の提案・実績等を審査・評価し、その結果を合わせて決定する総合評価方式について、業界でも技術力向上のため必要な制度ではありますが、県内他市と比較して適用件数が高いことから、他市での導入割合等も考慮して制度を見直してみてもどうかという意見もありました。

### ■議案第58号 財産の取得について

防衛省からの交付金を活用し、教育用バス1台を2,099万5千円で取得するもので、松東みどり学園のスクールバスを更新することで、遠距離通学をしている児童生徒に対し、通学における安心・安全の確保及び利便性の向上を図るほか、校外学習でも利用するものです。

## 福祉文教

委員長

杉林 憲治

副委員長

竹田 良平

### 委員

木 下 裕 介 高 野 哲 郎 片 山 瞬 次 宮 西 健 吉 表 靖 二

### ■新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について

新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯のうち緊急小口資金等の特別貸付を利用できない世帯で申請時点において収入額、預貯金が基準を下回り、かつ求職活動を行っている世帯を対象に7月より支援金の支給を開始しているとのことです。申請期限を11月30日まで延長し、市ホームページでの掲載や未申請者宛には文書を送付したとのことです。

### ■2学期における感染防止対策について

学校では文部科学省のガイドラインや専門家からのアドバイスに基づいて市が示した内容を徹底して実施しているとのことです。

コロナ禍の中で、休み時間等において遊びなどを動かすことが十分にできていないのではと心配する意見がありましたが、密にならないよう各学校において感染予防対策を行いながら工夫して取り組んでいるとのことです。

### ■令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

学校・家庭・地域が連携を深めることにより子供たちの健全育成を図ることを目的に、毎年公表しております。

市内小学校(国語・算数)と中学校(国語・数学)の学力については全国的に見ると平均以上という結果ですが、小中学校ともに記述式の設問において課題が見られており、各学校の状況を分析し指導を行うとのことです。また、この調査は、教職員の指導力の改善を図ることも目的としており、調査を元に、保護者に今後の各学校の指導の方向性についてお知らせしていくとのことです。課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいるという主体性については、全国や県と比較しても高い結果となり、各学校での取組の成果によるものではないかとのことでした。

昨年の一斉休校による学力への影響はないかとの意見に対しては、県の教育委員会の見解と同じく、本市においても影響はないとのことでした。

## 経済建設

委員長

宮川 吉男

副委員長

岡山 晃宏

### 委員

吉田 寛治  
吉村 範明  
吉本 慎太郎  
出戸 清克  
川崎 順次

### ■小松市農業集落排水施設における汚泥減容化技術の実証試験の実施について

汚泥の減容化と処理コスト削減、SDGsの実現のため、小松市上下水道局と小松マテリアル株式会社協定を締結しました。小松市農業集落排水施設(中海地区処理場)で、減容化技術を導入し、実証試験を実施するものです。

下水処理での効果や影響等、市のモニタリングと企業のノウハウを活かし、しっかりと管理、検証を行うよう意見がありました。

### ■令和3年度 除雪対策の見直しについて

公助、共助、自助の連携を基本とし、降雪対策を改善するものです。除雪は、個人や町内の協力が不可欠であるので、除雪業者の割り当てエリアが決定次第、町内会に報告し、事前打ち合わせや、排雪場所の確認をしてほしいとの意見がありました。

### ■小松市ゼロカーボンシティ宣言について

今回の表明で国内のゼロカーボンシティは439自治体となるということです。これから重要な分野であるので、高い

目標ですが、市挙げて実現に取り組みことを求める意見がありました。また、ごみの出ない仕組みづくりなどCO2排出量削減に向け、個人や企業もできる取り組みから始めてほしいとの意見がありました。

### ■東京2020パラリンピック関連について

東京2020パラリンピックで、本市出身選手が銀メダルを獲得しました。オリンピック・パラリンピックを通じメダルを獲得するのは、初の快挙です。また、木場漕力ヌー競技場において5ヶ国36名が事前合宿を行いました。

コロナ禍で対応が難しい中、ご支援を頂いた宿泊施設関係者やボランティアの皆様へ感謝の言葉を伝えてほしいとの意見がありました。

今後、世界との交流を大切に、本市を積極的にアピールして世界大会・全国大会等の誘致を進めることが第一であり、スポーツ施設の更なる充実を図り、誘致できる環境を整えるよう強く求める意見がありました。

## 特別委員会 調査報告

### 小松基地・空港対策特別委員会

委員長	灰田 昌典
副委員長	梅田 利和
委員	新田 寛之
委員	吉本慎太郎
委員	片山瞬次郎
委員	二木 攻
委員	川崎 順次

### ■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点では、小松基地における訓練計画はないとのこと。訓練の実施については、小松市民にとって関心の高いことであることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めました。

### ■令和3年度1四半期末までの緊急発進実施状況について

7月9日に統合幕僚監部から発表された資料によると、緊急発進回数は142回であり、前年度の同時期と比べて52回減少したとのこと。小松基地が所属する中部航空方面隊の緊急発進は2回、昨年比2回減でした。

### ■国の令和4年度概算要求について

基地周辺対策費は、令和4年度概算要求額1,201億9千6百万円で、前年度に対し、49億1千8百万円増の4.3%の伸びとの報告があ

りました。

また、小松基地に配備予定の最新鋭ステルス戦闘機「F-35A」8機分の取得費約1,194億円が計上されており、令和8年度に8機配備される予定とのこと。

F-35Aの配備については、飛行の安全性確保及び、告示後住宅の防音工事の実施を実現することや、小松飛行場周辺整備協議会で取りまとめられた要望事項等の早期実現を目指すことを前提に容認したものです。

住宅防音工事をはじめ、周辺環境整備等、地元の要望の早期実現に向けて、今後とも予算確保の要望に努めていくよう求めました。

### ■航空プラザについて

航空プラザの令和3年7月末までの入館者は、新型コロナウイルス感染症の影響により、入場制限等を行ったこともあり、例年と比べて減少しているとのこと。

航空プラザの駐車場について、安宅新土地区画整理事業の進捗を踏まえ、県と連携しながら同駐車場の拡充整備を行うことにより、航空プラザや周辺へのアクセスの向上を確保し、利用者の安全性・利便性を高めるよう求める意見がありました。



# 予定 12月定例会の日程

※日程は変更になる場合があります。  
【問い合わせ】 議会事務局 ☎0761-24-8138

日	月	火	水	木	金	土
11/28	11/29 本会議(開会)	11/30	1	2 議会運営委員会	3	4
5	6	7 代表質問	8 一般質問	9 一般質問	10 常任委員会 (分科会)	11
12	13 特別委員会	14	15	16 予算決算常任委員会 総括質疑 常任委員会(分科会)	17	18
19	20	21 予算決算 常任委員会	22	23 議会運営委員会 本会議(閉会)	24	25
26	27	28	29	30 傍聴可能なもののみ記載	31	1

11月29日には市長による提案説明、12月7・8・9日には市政に対する質問、12月16日には予算案等への質疑、12月23日には委員長報告等が行われます。  
小松市政について、活発な議論が行われますのでぜひご覧ください。



小松市  
イメージキャラクター  
カブッキー

☆議会傍聴 ☆テレビ小松 ☆ホームページ(議会生中継、録画配信)  
<https://www.city.komatsu.lg.jp/citycouncil/index.html>

## 編集後記

### 議会だより編集委員会

委員長 東 浩一  
副委員長 岡山 晃宏  
委員 竹田 良平  
吉田 寛治  
吉村 範明  
吉本慎太郎



いつもお世話になっております。この議会だよりで、最も多くのページが割かれているのは各議員の質問の項目です。議員によって内容は様々ですが、一人ひとり共通して「市を発展させること」や「困っている人を助けること」を意識しています。

議場は日常に近いとは言い難いですが、議会だよりを通して少しでも知っていただきたいと思っております。興味を持って見ていただくには内容の充実が必要で、内容の充実を図るには議場が日常からかけ離れたものにならないよう常に市民目線を持つことが大切です。日々研鑽してまいりますので、皆様にはこれからもご指導・ご鞭撻を宜しくお願い致します。

(竹田 良平)

## 9月定例会注目ワード

### 「ゼロカーボンシティ」とは

「2050年までにCO2(二酸化炭素)の排出量を実質ゼロにすることを指す旨(脱炭素化)を首長もしくは地方公共団体から公表された都道府県または市町村」のことを指します。  
小松市では、2021(令和3)年8月25日の9月議会予算内示会および市長プレスリリースにおいて「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを表明しました。  
令和3年9月30日現在464自治体が表明。



不動産鑑定士 澤矢豊伸 TEL.0761-21-1122  
中小企業診断士 社会保険労務士 竹内広幸 TEL.0761-22-9990  
税理士 行政書士 谷口勇一 TEL.0761-76-5503  
弁護士 杉本昌之 TEL.0761-24-3633  
弁護士 中西祐一 TEL.076-256-5413  
司法書士 三輪哲也 TEL.0761-43-0848  
土地家屋調査士 行政書士 山崎 豊 TEL.0761-20-3175



◆法律◆多重債務◆税金◆登記  
◆年金◆会社設立◆相続 等  
のご相談をお気軽に【秘密厳守】  
私たちが相談に応じます。

## サポートネット 専門家による無料相談会

日時●11月13日(土) ●12月18日(土) 9時~11時30分 会場

●小松商工会議所